

## 事前質問への回答(DMOによる観光地域づくり) 1/3

項目	内容
<p>十和田版DMOの組織図や十和田市職員の関わりはどのようになるか。</p>	<p>組織は、16ページにあるように、主に、①観光推進担当、②イベント・観光案内・物産担当、③総務担当の3つを主な業務内容とするセクションから成ります。ただし、セクショナリズム（縦割り主義）を避け、全員が観光地域づくりを担っていくという使命を共有し、一丸となって取り組める組織を目指していきます。</p>
<p>十和田版DMOの組織図や十和田市職員の関わりはどのようになるか。</p>	<p>DMOの設立によって、市が行っていた観光推進業務は、徐々にDMOに移行していくこととなりますが、当面は、DMOに市の職員を派遣するなどして、DMOと市が緊密な連携のもと、観光地域づくりを進めていく必要があると考えています。</p>
<p>国の交付金額や交付期間はどのくらいか。</p>	<p>DMOの設立・運営に対する国の交付金は設定されておりませんが、観光振興の事業展開にあたっては、活用できる交付金等（特に地方創生関係）がないかを常に見つけながら、随時活用して効率的な財政運営につなげるよう努めてまいります。また、今後、DMO向けに新たな支援メニューの創設が見込まれており、積極的に活用に取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>十和田版DMOが自立できるまでの目途をどう考えているか。</p>	<p>もはや観光産業は、「レジャーを担う産業」としての位置づけから、「地域活性化に繋がる重要な産業」へと変容しています。その舵取り役としてのDMOには、これまで取り組めなかった新しい役割（マーケティングやインバウンド対応）が期待されており、それら地域課題への対応も必要であることから、他のDMO同様、運営の財源の大部分は当面、市からの補助金が占めることになると考えています。旅行商品の販売やサービスの提供、施設の活用、欧米DMOにならった宿泊者数等に応じた負担金の研究などを行い、徐々に収益事業（自主財源）割合を増やしていくことを目指すとともに、自主財源の比率など財務に係る具体的な目標を設定し、進捗管理を行いながら、健全な組織運営に努めていきたいと考えています。</p>

## 事前質問への回答(DMOによる観光地域づくり) 2/3

項 目	内 容
「観光による地方創生」の具体的なイメージ(マスタープラン)はあるのか。	<p>6、7ページでお示したとおり、「観光」は、地域経済にとって波及効果が高いものであることが分かっており、また、昨今は、景勝地などばかりでなく、その地域の日常を楽しむ観光客も増えております。ホテル・旅館・土産物屋だけでなく、街なかの商店や農家、酒蔵なども観光コンテンツになりえ、また付随してバス・タクシーなどの交通も利用することになります。「観光」を振興することそのものが「地方創生」につながるという考えが「DMOによる観光地域づくり」の発端ともいえます。</p> <p>なお、DMO設立後は、13ページにあるような、市やDMO、関係事業者等から成る「(仮称)十和田市観光戦略会議」において観光戦略を策定していくこととしており、この戦略のベースは、DMOが担うマーケティングやブランディングの作業から導き出されるものとなります。</p>
全国で同じような取組があり、結局、ANA総合研究所など業務委託を受けた業者が儲かる仕組であって、地方が儲かる仕組ではないのではないか。	<p>平成29年度からのANA総合研究所への業務委託は、DMO運営を委託するものではなく、DMOを立ち上げるまでの段階で、世界的に展開している民間企業の知見やノウハウを生かし、国がDMOの要件としている「マーケティングの思想」や「地域が豊かになる仕組み」、「インバウンドに対応する国際的な知見」といった考え方を踏まえた組織づくりの支援業務です。</p> <p>ご指摘のとおり、委託を受けた業者ではなく、この地域が儲ける仕組をつくりあげなくては、DMOの意味はないものと考えます。</p>
アンケートの調査結果を公表しているか。	<p>7月11日に開催した『観光を軸とした地域活性化セミナー』においてアンケート調査結果の概要を解説し、資料としてすべての項目について配布・公表しました。資料は、ホームページにも掲載しております。</p>
平成29年度の事業費の内訳を確認したい。	<p>19ページのとおりです。</p>

## 事前質問への回答(DMOによる観光地域づくり) 3/3

項 目	内 容
<p>達成指標であるDMO設立の先に、これを具体的にどのように活用し、目的に示す「稼ぐ力」を引き出すことにつながるのか、中長期的なビジョンはあるか。またそれはどんなものか。</p>	<p>DMO設立は手段であってゴールではありません。地域の「稼ぐ力」を引き出す観光地域づくりの舵取り役としての役割・機能を果たすことが求められます。</p> <p>実際には、マーケティングに基づき選ばれる観光商品づくりをすること、日常的な風景や体験メニューを含め魅力のバラエティを増やしていくこと、原材料やサービスの地域内での調達率を高めること、などの地道な作業を行っていくこととなります。</p> <p>中長期的なビジョンについては、市やDMO、関係事業者等から成る「(仮称)十和田市観光戦略会議」において観光戦略を策定していくこととしています。</p>
<p>事業評価に示す各種取組の内容、結果、またそれを受けての分析結果はどうだったか。</p>	<p>29年度に実施した事業の内容は、19ページから25ページのとおりです。マーケティング調査の結果などについては、別途配布しております。</p> <p>また、資料はつけておりませんが、28年度に実施したマーケティング調査の結果を、29年度に作成した観光パンフレットのターゲット設定やデザインに反映させるなどもいたしました。</p> <p>観光客が何を求めているか、十和田市をどう見ているかのマーケティング調査を土台としながら、同時に地域資源の掘り出し⇒磨き上げ⇒商品化⇒発信のサイクルを重ねてまいります。</p>